

ひと

北京で音楽活動を再開したザ・タイガースの元メンバー

ひとみ みのる
人見 豊 さん(64)



ザ・タイガースを去ってから、芸能界、音楽、そしてかつての仲間を否定し続けた30余年だった。

瞳みのる。「ビー」の愛称でドラムを担当。ボーカルのジュリーこと沢田研二さんに次ぐ人気者だった。ヒット曲を連発したが、もうけに走る事務所のアイドル路線に嫌気が差した。1971年1月、日本人では初の単独武道館公演で4年間の活動を終え、故郷の京都に戻った。

定時制高校で学び直し、慶応大で中国文学を専攻。大学院修了後、高校教諭として中国語を教え、参考書を出版する第一人者に。学問の道を突き進んだのは、「二元アイドル」のレットルを取り去りたかったからだ。再結成の誘いは何度も受けたが、かたくなに拒んだ。

ある日、テレビで沢田さんが歌う新曲に胸を打たれた。「30年以上隙間は重いけど今はもう笑いたい」。

自分にあてたメッセージだとすぐ気づいた。2008年暮れ、解散後初めて一同が再会。すぐに打ち解け、感涙にむせぶメンバーもいた。「こいつらが一生の親友だとわかった」

昨春退職して北京に移り住み、作曲を始めた。手始めに1300の中国の歌謡曲を邦訳。漢詩をちりばめた歌詞の奥の深さを知った。「日本の歌には思想がない。世界に通用する本物の曲をつくりたい」。再結成するときの最初の歌を日中両語でつくり、先日、沢田さんの声が入ったデモテープができた。曲名は「老虎再来(タイガースが帰ってきた)」。

文・峯村健司 写真・河合博司